

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	消防団員研修事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	複雑多様化する災害活動等において、消防団員の安全かつ円滑な活動の確保及び公務災害発生の防止を図ること。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	消防団員	対象とした数	325
		実際に 利用した数	249

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員研修の年1回の開催(6月) ・消防学校主催の消防団員研修への派遣(初級幹部・中級幹部・基礎教育・女性消防団員研修) ・消防団員の資格取得 								
		活動実績	項目名	消防団員研修	221	項目名	消防団員研修(県主催)	18	項目名	資格取得
			-----	-----		-----	-----		-----	-----
			単位 人			単位 人			単位 人	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	799	545	545	1.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	消防団活動の充実	安全な消防団活動を達成した団員数	325	322	99.1
			-----	-----	-----
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122
事業コード	消防団員研修事業					
100305						
開始年度		平成 16 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市総合計画			消防組織法、所沢市消防団条例、所沢市消防団規則			
	関連・類似事業							
	総体計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	1 消防力の充実	小柱

・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位		・実施計画における位置づけ…		H19 ***	H20 ***
行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
コード	事務事業見直しの推進		コード		
3261					
事業開始の背景 災害事象が益々複雑多様化、大規模化する中で、消防団員は任務の拡大とともに生業の傍ら突発的に災害に立ち向かう必要があり、事故危険リスクは非常に高い。こうした状況の中で消防団員が安全かつ円滑に災害現場活動が実施できるよう、消防技術の向上や危険予測、事故の未然防止などの効果的な安全管理を充実させる必要が生じている。					

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	複雑多様化する災害活動等において、消防団員の安全かつ円滑な活動の確保及び公務災害発生の防止を図ること。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	消防団員			消防団員研修に参加した団員数			
対象数	単位	平成 18 年度	315	利用数	単位	平成 18 年度	243
		平成 19 年度	325			平成 19 年度	249
事業の具体的な内容及び実施方法							
・消防団員研修の年1回の開催(6月) ・消防学校主催の消防団員研修への派遣(初級幹部・中級幹部・基礎教育・女性消防団員研修) ・消防団員の資格取得							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
・研修日程の事前調整を行い団員が参加しやすい状況に配慮した。 ・研修資料の作成には両面印刷を徹底するなど事務事業の見直しを実施した。 ・前年までは2日間に亘り実施していた消防学校基礎教育研修の現地研修について1日の研修とし参加率を上げると共に費用弁償の縮小を実施した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		797	799	857
	決算(見込み含む)		518	545	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.95 人 8,740	0.95 人 0	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		9,258	545	
	財源内訳	一般財源	9,258	545	857
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			27.4	1.6	
利用数一単位あたり(単位:円)			38,098.8	2,188.8	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	消防団員研修	消防団員研修に参加した団員数	人	209	221		
		消防団員研修(県主催)	消防団員研修(県主催)に派遣した団員数	人	25	18		
		資格取得	資格を取得した消防団員数	人	9	10		
成果分析	消防団活動の充実	安全な消防団活動を達成した団員数	目標値	315	325			
			実績	314	322	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2	
			% 達成率	99.7	99.1			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	受益者負担の有無
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	効果的で魅力のある研修となるよう内容の充実を図ること。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	消防団員の研修参加	全ての団員が1回以上の研修、訓練を受ける。		年度内
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由 消防団は市における災害時の実動組織として即応力、動員力に優れており、災害による被害の軽減や日頃の地域コミュニティの醸成に期待が寄せられている。そのため消防団員に対しては、消防技術の向上や防火に関する知識、市勢等について認識を深め、かつ安全に活動するための教育・訓練等を実施する必要があり、21年度も本事業を継続し必要な改善を行なうものである。					
評価日		平成20年5月12日	記入者職氏名	警防課長 荻野 透	

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
年度内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				

⑩環境基本計画	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	施策の体系		施策の方向					
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	基本目標							
主要課題								
施策の方向								